

## 「地域とつながる体験・発信事業」

### ～深めよう!むらとく絆プロジェクト～

地域に根差し地域に開く特別支援学校づくりを更に発展・充実させることを目指し、今年度より「地域とつながる体験・発信事業」がスタートしました。

昨年度末からの新型コロナウイルス感染症感染対応により、これまでのように地域に出向き活動することが難しい状況でした。また、本校を最大にアピールできる「むらとくまつり」に地域の方々をお呼びすることもできない中、できることを模索しながら実施してきました。

本校の今年度のテーマは「深めよう!むらとく絆プロジェクト」です。

各学部での実践の様子をご紹介します。

#### \*\*\*\*\*小学部\*\*\*\*\*

11月10日、東北文教大学人間科学部子ども教育学科の横沢文恵先生と学生さんとの交流を行いました。

今年度は新型コロナ感染対策として、小学部67名の児童は3グループに分かれての交流となりました。横沢先生と学生さんが、それぞれの学年に合わせた手遊びやパネルシアターを準備してくださり、歌に合わせて一緒に身振りをしたり、クイズをしたりしました。どのグループも子どもたちは楽しそうで、いい笑顔がたくさん見られました。

活動後は学生さん達が手作りしてくれた独楽やメッセージの書かれた栞のプレゼントがありました。大変温かく、心に残る交流となりました。



#### \*\*\*\*\*中学部\*\*\*\*\*

2月22日、3月2日、8日に、東北文教大学人間科学部子ども教育学科の石井裕明先生と学生さんとの交流を行いました。

石井先生、学生さん達からダンスを教えてもらったり、交流したりしながら楽しくダンスを踊ることができました。



#### \*\*\*\*\*高等部①\*\*\*\*\*

10月24日、地域の先生の出前講座として「長谷堂城山太鼓体験教室」を行いました。和太鼓に親しみながら、地域の方々との交流を深めました。



事前学習で「城山太鼓」について調べたことで、地域の先生方に興味をもってかかわったり、楽しく一緒に活動したりすることができました。地域のことを知るきっかけにもなりました。

### \*\*\*\*\*高等部②\*\*\*\*\*

2月9日～24日、隣接する山形県立山形聾学校の昇降口のロビーをお借りして「スマイルバザー」のパネル展示を行いました。

新型コロナウイルス感染症予防のため、例年開催しているイオンでの作業製品販売会が中止となりました。そこで、今年度は「スマイルバザー」として注文販売で作業製品を販売しました。

山形聾学校に本校の作業学習の活動の様子と今回販売する製品について紹介したパネルを展示させていただきました。山形聾学校の教職員の方々や保護者の方々に、学習の成果を見ていただく機会を得ることができました。また、今回は山形聾学校の職員の方にも作業製品を購入していただけるよう、注文票を準備し、販売することができました。この「スマイルバザー」を通して山形聾学校の先生方と本校の生徒の交流をもつこともできました。

### \*\*\*\*\*高等部③\*\*\*\*\*

学校付近の地域という訳ではないのですが・・・ 高等部1年生の生活単元学習で「山寺」について学習を行いました。その中で、山寺について身近な人にインタビューしたことや校外学習で実際に山寺を訪れて感じたことを「山寺すごろく」、「山寺マップ～わたしのおすすめポイント～」にまとめました。制作した「山寺すごろく」「山寺マップ」は校外学習でお世話になった山寺の売店等にお送りし、店頭に置かせていただくことになっています。

広い意味で地域とつながる体験をした活動でした。



新型コロナウイルス感染予防対策により、地域の行事が中止になったり、「むらとくまつり」へ地域の方をお呼びできなかつたり、地域での販売活動ができなかつたりと、これまで当たり前に行っていたことができない状況の一年でした。その中でも、出前講座の地域の先生方や東北文教大学の先生方、山形聾学校のご協力をいただきながら、むらとく絆プロジェクトを深められたと感じています。